

マルチフェロイックスにおける対称性とトポロジー  
“ Symmetry and topology in multiferroics ”

永長 直人氏 (東京大学工学系研究科 物理工学専攻/ 理化学研究所 交差相関理論チーム)  
Prof. Naoto Nagaosa (Faculty of Engineering, The University of Tokyo  
/ Theoretical Design Team, RIKEN)

複数の対称性が同時に破れた系はマルチフェロイックスと呼ばれ、近年凝縮系物理学で大きな注目を集めている。固体物理学で重要な対称性として、時間反転 $T$ 、空間反転 $I$ 、ゲージ対称性 $U(1)$ の3つが挙げられ、それぞれに関する対称性の破れは、磁性、強誘電性、超伝導として発現する。これらのうち2つ以上が同時に破れた場合に起きる新奇な物性について、いくつかのトピックスを、対称性とトポロジーの観点から議論する。

\* This Colloquium is held on Wed., not Tue.

Oct. 28(Wed), 2009 13:30 -  
Nishina Hall, RIKEN

*The Colloquium will be given in Japanese*

Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer  
[npsoc@ribf.riken.jp](mailto:npsoc@ribf.riken.jp)  
<http://ribf.riken.jp/~seminar/>